

令和2年度 全県教育課程説明会 「特別の教科 道徳」部会（中学校）

1 新学習指導要領実施 指導のポイント

道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。

中学校学習指導要領「第1章 総則」P.19

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う**ため、①道徳的諸価値についての理解を基に、②自己を見つめ、③物事を広い視野から多面的・多角的に考え、④人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

中学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」P.154

道徳性を養うために行う道徳科における学習（指導のポイント）

中学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳」P.14

（1）道徳的諸価値についての理解を基に

道徳的価値とは、よりよく生きるために必要とされるものであり、人間としての在り方や生き方の礎となるもの。

- 価値理解・・・人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること。
- 人間理解・・・道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること。
- 他者理解・・・道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということを前提として理解すること。

（2）自己を見つめる

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めること。

（3）物事を広い視野から多面的・多角的に考える

- 多様な感じ方や考え方に接することが大切であり、多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的・多角的に考える。
- 価値理解と同時に人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深め、判断し、表現する力を育む。
- 他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが重要である。

* 「対話的な学び」の視点

生徒同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えたり、自分と異なる意見と向かい合い議論することを通じ、自分自身の道徳的価値の理解を深めたり広げたりすることが求められる。

【大切にしたいこと】協働し、対話する・多面的・多角的に考える・学級経営の充実を図る等

(4) 人間としての生き方についての考えを深める

道徳科では、生徒が「自己を見つめ」「広い視野から多面的・多角的に」考える学習活動において、「道徳的諸価値の理解」と「人間としての生き方についての考え」を、相互に関連付けることによって、深い理解、深い考えとなっていく。こうした学習における一人一人の生徒の姿を把握していくことが生徒の学習活動に着目した評価を行うことになる。

* 「主体的な学び」の視点

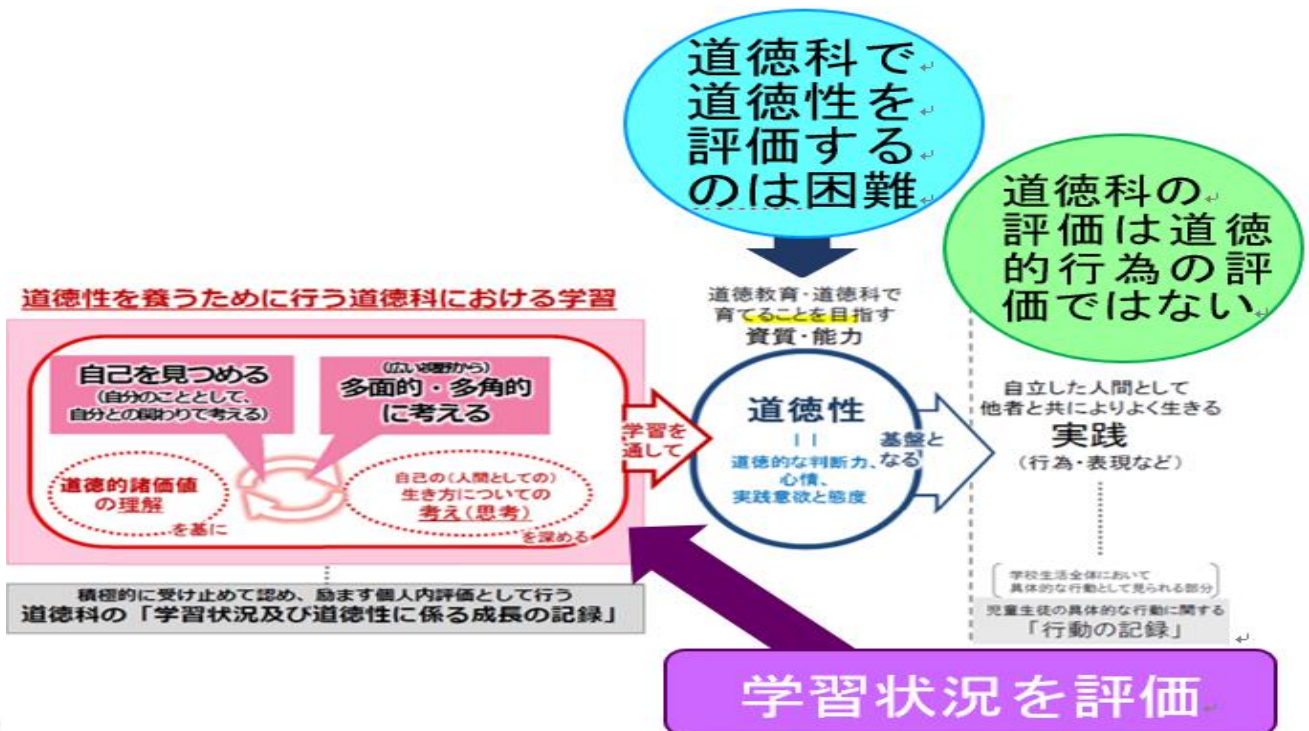
児童・生徒が問題意識をもち、自己を見つめ、道徳的価値を自分自身との関わりで捉え、自己の生き方について考える学習とすることや、各教科で学んだこと、体験したことから道徳的価値に関して感じたことや考えたことを統合させ、自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫することが求められる。

【大切にしたいこと】・問題意識をもつ・自分自身との関わりで捉え、考える・自らを振り返る等

2 「指導と評価の一体化」のために

「特別の教科道徳」の学習活動と評価のイメージ

- 道徳性が養われたか否かは容易に判断することができるものではない。しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その学習状況を適切に把握し評価することが求められる。
- 道徳科の授業では、特定の価値観を児童・生徒に押しつけたり、指示通りに主体性を持たずに言われるままに行動するよう指導したりするものであってはならない。内容項目を手掛かりに「考え、議論する」ことを通じて、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を行うことによって、道徳性を養うことを目指すもの。
⇒このため、道徳科の学習の中で、特に「自己を見つめ、自分のこととして考えているか」「物事を広い視野から多面的・多角的に考えようとしているか」といったことに着目することで、道徳科の学習状況を把握することが必要である。



3 その他 (情報提供等)

「NITSのオンライン講座」 校内研修にも活用できる教科調査官による講座を紹介
独立行政ホームページからダウンロード可能 <http://www.nits.go.jp/>